

# 第66回全国植樹祭の開催に 向けた取組状況について

# 目 次

1	第66回全国植樹祭イベントの開催について.....	1
2	第65回全国植樹祭リレーセレモニーについて.....	2
3	会場レイアウトについて.....	3
4	お野立所周辺イメージパース.....	4
5	飾花計画について.....	5
6	式典プログラムについて.....	6
7	お手播き樹種の種子採取について.....	7
8	記念シンポジウムについて.....	8
9	カウントダウンイベントについて.....	9
10	関連事業計画について.....	10

# 1 第66回全国植樹祭プレイベントの開催について

第66回全国植樹祭の開催気運の醸成と、豊かな森づくりやそれを支える森林資源の利活用の重要性について、広く周知・普及するため実施した。

1 日時 平成26年5月18日(日) 10:00~15:00

2 場所 木場潟公園中央園地(小松市三谷町ほか)

3 来場者 約15,000人

4 内容

(1) 式典 (10:00~10:30)

ア 開会宣言(緑の少年団代表)

イ 主催者挨拶(実行委員会会長 石川県知事)

ウ 開催地首長挨拶

エ 大会テーマ、大会ポスター原画受賞者表彰

オ 苗木等の贈呈

カ 協賛目録の贈呈、感謝状の贈呈

キ 代表者記念植樹

(2) ステージアトラクション

加賀献木木遣り歌、児童等による太鼓演奏 など

(3) 飲食・販売、体験・展示ブースの出店

5 併催イベント(主催:小松市)

白山眺望ウォークin小松、スマイル木場潟、エンジョイエコまつり



## 2 第65回全国植樹祭リレーセレモニーについて

1 日時 平成26年6月1日(日)

2 場所 新潟県長岡市「ハイブ長岡」

### 3 概要

第65回全国植樹祭の記念式典において、泉田裕彦新潟県知事から谷本正憲石川県知事へ大会シンボルを引継ぎ。会場内大型モニターで流された石川県紹介映像を背景に、次期開催県知事として谷本知事が挨拶した。



### 4 大会シンボルの県内巡回計画

県内全市町で巡回展示し、平成27年春季の石川県開催に向けた気運醸成を図る。

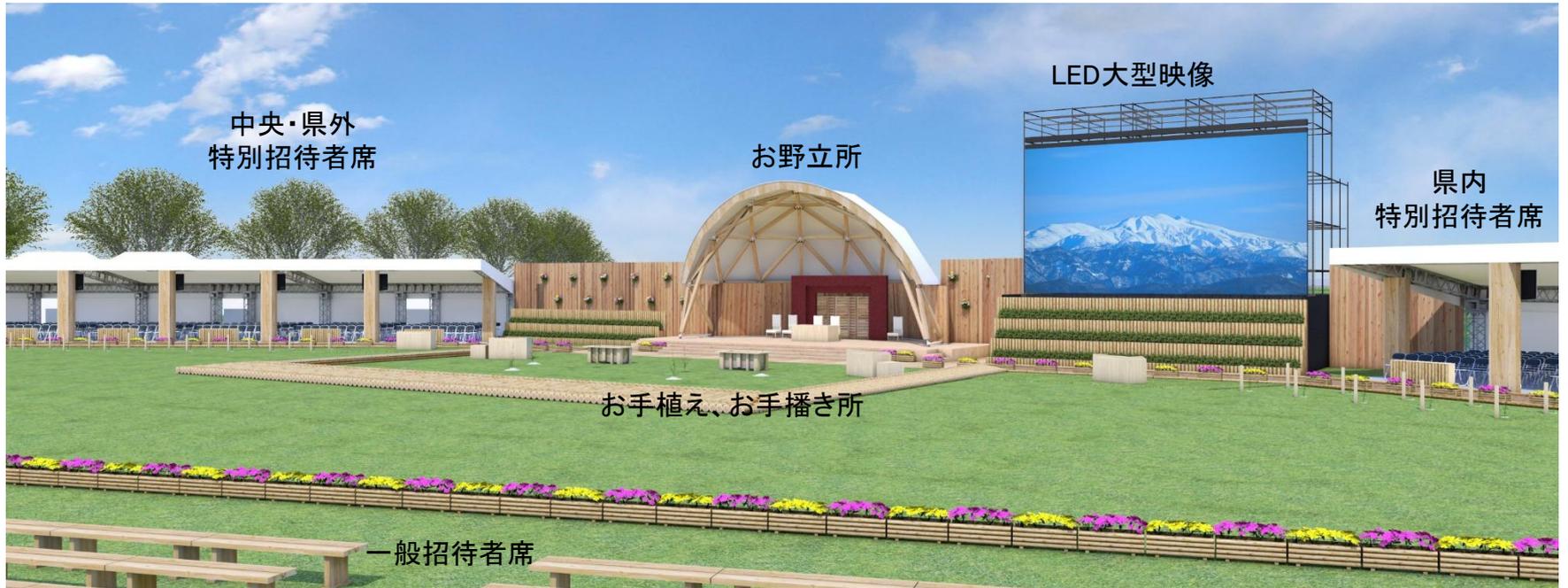
#### 巡回計画

年月	展示場所
H26. 8月	珠洲市、能登町
9月	輪島市、穴水町、志賀町
10月	七尾市、中能登町、
11月	羽咋市、宝達志水町、かほく市
12月	津幡町、金沢市
H27. 1月	内灘町、野々市市
2月	白山市、川北町
3月	能美市、加賀市
4月	小松市

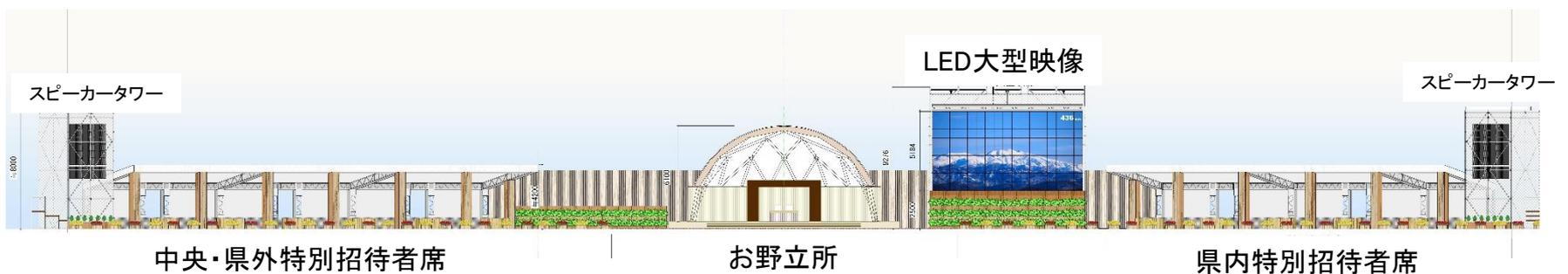
### 3 会場レイアウトについて



# 4 お野立所周辺イメージパース



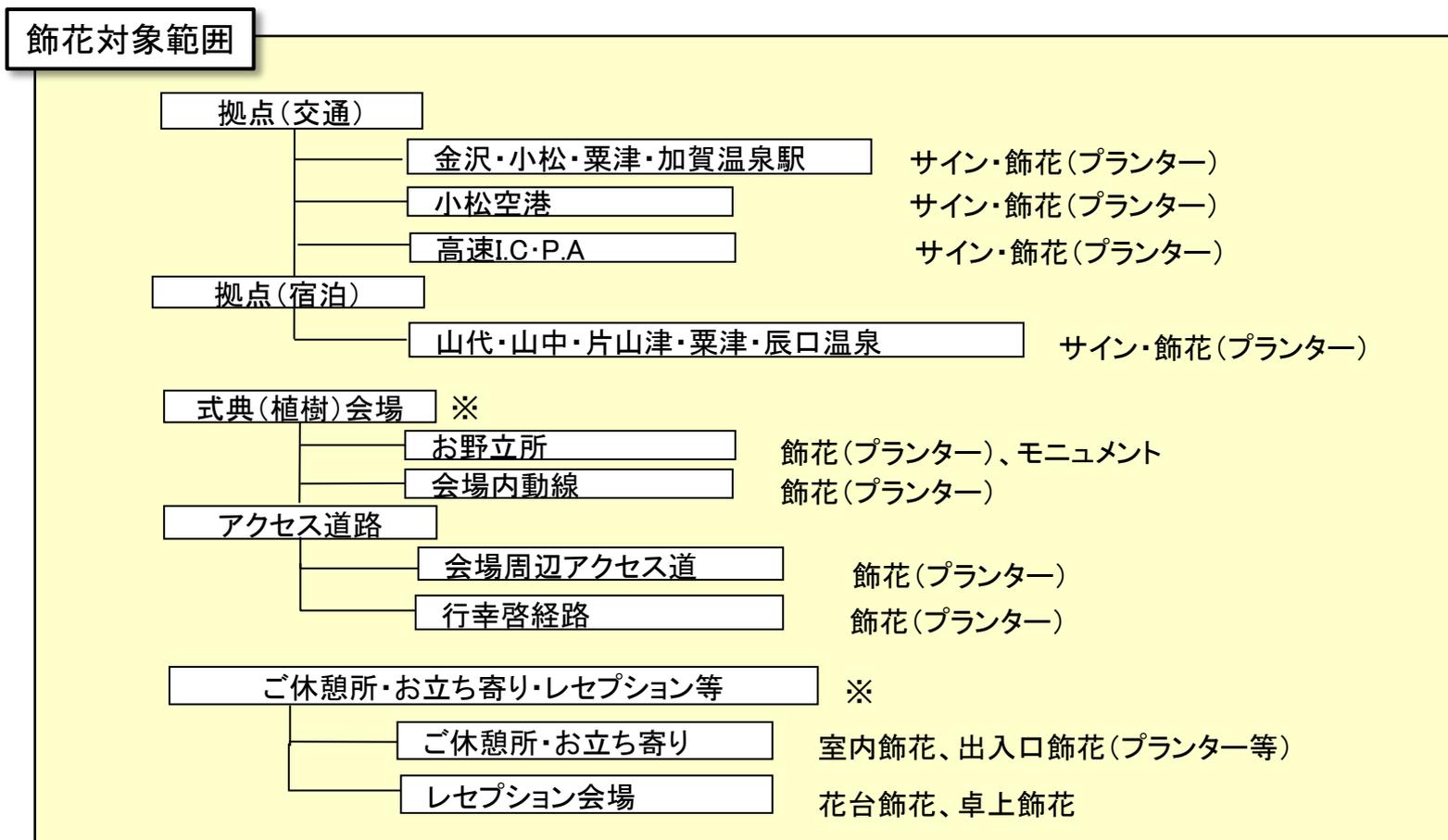
※飾花は仮イメージ



# 5 飾花計画について

## 〈基本的な考え方〉

- ・ 交通拠点や宿泊地周辺等については、行政、関係団体、県民が一体となり、飾花や美化に努める。
- ・ 会場周辺の雰囲気を引き立てるとともに、参加者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置する。
- ・ 式典会場内は、各エリアの動線や区分を行うとともに、県産の生花も活用する。



# 6 式典プログラムについて

## ① プロローグ (10:10~10:55)

招待者を歓迎するとともに、両陛下ご臨席の記念式典へつなげるステージ

プログラム	登壇者・出演者
プロローグ案内	
オープニング映像	
アトラクション	
大会概要紹介	総合司会
感謝状贈呈	贈呈：石川県知事 受贈：各受賞者
東日本大震災復興支援	贈呈：石川県知事、 緑の少年団 受贈：被災地代表
記念切手贈呈	贈呈：日本郵便 株式会社代表 受贈：石川県知事
記念式典のご案内	総合司会

## ② 記念式典 (11:00~11:50)

両陛下によるお手植え、お手播きのほか、大会テーマ（開催理念）を表現するステージ

プログラム	登壇者・出演者
天皇皇后両陛下御到着	
開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
三旗掲揚・国歌斉唱	緑の少年団、ボーイスカウト、 ガールスカウト
主催者挨拶	大会会長（衆議院議長）、石川県知事
表彰	贈呈：大会会長、農林水産大臣、 文部科学大臣、石川県知事 受贈：受賞者代表
苗木の贈呈	贈呈：緑の少年団 受贈：農林水産大臣、環境大臣
天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き代表者記念植樹	介添え：緑の少年団、ボーイスカウト、ガールスカウト 県内外特別招待者
アトラクション（大会テーマ表現）	
大会宣言	国土緑化推進機構理事長
リレーセレモニー	石川県知事 長野県知事 介添え：緑の少年団
閉会のことば	石川県議会議長
天皇皇后両陛下御退席	

## ③ エピローグ (11:50~12:20)

記念式典を終え、招待者にリラックスして、石川の魅力を感じ、楽しんでもらうステージ

プログラム	登壇者・出演者
エピローグ案内	
アトラクション	
映像メッセージ	
グランドフィナーレ	全出演者

# 7 お手播き樹種の種子採取について

- ・ 本年秋、緑の少年団やボランティアの参加による、お手播き用種子の採取を予定。

区分	樹種	県民参加による採取方法
天皇陛下	クヌギ	世界農業遺産に認定されている能登地区において、里山の保全に取り組む茶道用菊炭生産者がボランティア等と育てたクヌギ林から種子を採取予定
皇后陛下	トチノキ	トチノキの保全活動に取り組んでいる白山市白峰地区の方々や緑の少年団とともに国指定天然記念物である「太田の大トチノキ」から種子を採取予定



クヌギの植林活動



太田の大トチ

## 【お手植え用苗木】

区分	樹種名	本数	大きさH26.6現在 (1.0m~1.2m)	育成場所
天皇陛下	クロマツ	30本	約0.6m	種苗組合
	スギ	10本	約0.8m	種苗組合
	ケヤキ	30本	約0.8m	種苗組合
皇后陛下	アカマツ	30本	約0.6m	種苗組合
	ヤマモミジ	20本	約0.8m	緑化センター
	ケンロクエンキクザクラ	20本	約0.9m	緑化センター

## 【お手播き用種子】

区分	樹種名	数量	保管場所等	備考
天皇陛下	アテ	約10,000粒	林業試験場	H25年秋に能登地区で採取済
	クヌギ	約100粒(予定)		H26年秋に能登地区の里山から採取予定
皇后陛下	トチノキ	約100粒(予定)		H26年秋に国指定天然記念物太田の大トチ(白山市白峰地区)から採取予定。
	ヤマザクラ	約500粒	林業試験場	H26年春に林業試験場樹木公園で採取済。

## 8 記念シンポジウムについて

全国植樹祭石川大会の基本理念である「森林資源の積極的な利活用の促進」を全国に向けて発信するため、森林(里山)資源の利活用について議論し、国民・県民の理解を深めるシンポジウムを開催する。

- 1 日時 平成26年10月27日(月)、28日(火)
- 2 会場 石川県地場産業振興センター新館コンベンションホール 他
- 3 主催 石川県、第66回全国植樹祭石川県実行委員会
- 4 後援 林野庁、公益社団法人国土緑化推進機構、JAPIC(予定) 他
- 5 内容

第1日目:10月27日(月)

第1部 基調講演・パネルディスカッション <定員:300名>

- ・ 基調講演:藻谷浩介((株)日本総合研究所 主席研究員)  
演題「森林資源の利活用を通じた豊かな森・ふるさとづくり(案)」
- ・ 事例発表  
県内で先進的に取り組む事業者等による発表(発表者は調整中)
- ・ パネルディスカッション  
コーディネーター:香坂 玲(金沢大学准教授)  
県内外で先進的に取り組む事業者や有識者等による討論を実施(パネリストは調整中)

第2日目:10月28日(火)

第2部 分科会 <定員:各50名>

「革新する伝統工芸～木とともに～(仮)」、「森×女子が造るふるさと(仮)」等を主題に基調報告や対談、フリートーキングをワークショップ形式で開催

## 9 カウントダウンイベントについて

第66回全国植樹祭の開催気運の盛り上げを図るため、県民参加によるカウントダウンイベント等を実施。

### 【開催日発表直後】

内容 懸垂幕の掲出

場所 県庁1階エントランスホール、県庁前時計塔

### 【200日前】

内容 カウントダウンボードの設置及び除幕式

場所 県庁他1箇所程度を想定

### 【100日前】

内容 カウントダウンボードお披露目及び設置  
〈県内高等学校生デザイン〉

場所 調整中

### 【50日前】

内容 地域リレー植樹イベントとの併催

場所 調整中

カウントダウンボードイメージ



〈H26 新潟県〉

# 10 関連事業計画について

## (1) 地域リレー植樹

第66回全国植樹祭の開催に向け、石川県全体で県民参加の森づくりが促進されるよう、全市町において特色ある地域植樹イベントを実施

〔時期〕 平成26年10月～平成27年4月

〔場所〕 県内19市町(21箇所) ※参考資料1

〔内容〕 植樹、森林整備、森林資源の利活用体験 など

## (2) 応援イベント

第66回全国植樹祭の開催理念に賛同する企業・団体等が実施する緑化イベントなど

〔場所〕 県内各地域(78事業:7月末現在) ※参考資料2

〔内容〕 植樹、森林整備、森林資源の利活用体験 など

〔備考〕 応援イベントは随時募集中(～H27. 3)

(参考)新潟大会のイベント数 15事業

